

導 入 編

はじめに

「とうしんでんさいネットサービスご利用マニュアル」は、《電子記録債権取引システム》※¹が提供するサービスを利用する企業ユーザ向けの操作方法についてご説明いたしております。

この「とうしんでんさいネットサービスご利用マニュアル」にそって、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、本書は画面変更に伴い記載内容を改訂する場合があることをご了承ください。

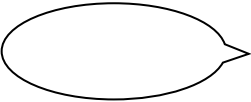
※¹ とうしんでんさいネットサービスは、SSC(しんきん情報システムセンター)が提供する「電子記録債権取引システム」を利用しています。

マニュアルの読み方

➤ 本マニュアルで扱う記号は、以下のとおりです。

項目	表記	説明
ボタン・タブ・ チェックボックス		画面上のボタン・タブ・チェックボックスを表します。
入力項目	①○○○ ②△△△ ・ ・	画面上の入力項目を表します。 番号は画面上に表記している番号と紐づけて記載しています。
参照	『』	『』内は参照先の取引名や機能名を記載しています。
条件	【】	【】内は条件を表します。

➤ 本マニュアルで扱う手順は、以下のとおりです。

表記内容	表記例
操作手順を記載します。	
補足説明を記載します。	
操作手順の完了を示します。	
『共通機能』に記載しているボタンを示します。※1	
操作手順を進めるボタンを示します。	
項目のエリアを示します。	
次の手順を示します。	
操作の完了を示します。	
詳細ボタンを押下し債権内容を別ウィンドウで 表示することを示します。	
別ウィンドウに移動することを示します。	
ポップアップされる画面を示します。	
業務及び操作のヒントとなる情報を示します。	

① ご注意事項

※1 : 『共通機能』に記載しているボタンの中で(「表示ボタン」「選択／解除ボタン」「戻るボタン」「トップへ戻るボタン」「一覧へ戻るボタン」「閉じるボタン」「ページリンクボタン」)については、本文中の青点線表記を省略しています。

➤ 本マニュアルで扱うマークは、以下のとおりです。

項目	表記	表記例
ヒントマーク		業務及び操作のヒントとなる情報
注意マーク	①	業務及び操作の注意事項
クリックマーク		ボタン押下の動作が必要な場合に記載します。
参照マーク		他取引・他機能を参照する場合に記載します。

➤ 説明部分の記載例

本マニュアルの記載例の説明を以下に示します。

なお、本マニュアル内では帳票の受渡しによる運用を想定した記載としておりますが、メール通知等による帳票印刷を行わない運用も可能です。

補足説明を表しています。

青点線で囲われているボタンの操作手順は『共通機能』に記載しています。

サブメニューエリアを示します。

項目エリアを示します。

次の手順を示します。

任意入力項目を示します。

印刷ボタンをクリックし、帳票を印刷してください。印刷した帳票を承認者へ提出し、仮登録内容の承認を依頼してください。P11『共通機能』

参照先を示します。

操作の完了を示します。

操作の完了、または操作完了後の注意点を示します。

✓ 仮登録の完了となります。
 ※請求の完了は承認者の承認が完了した時点となります。
 ✓ 仮登録の完了後、承認者へ承認依頼通知が送信されます。
 ✓ 承認者の手順については、P48『承認／差戻しの手順』

① ご注意事項

利用申込時のオプションにより、利用可能な取引や表示項目が異なります。

➤入力項目が 10 以上ある画面の記載方法

入力項目一覧表は画面上に入力項目が 10 以上ある場合に一覧形式で記載しています。

入力項目が 10 未満の画面については操作手順を記載している吹き出しへ属性などを記載しております。

画面上の項番とリンクしています。

●入力項目一覧表

✦返済口座情報(請求者情報)

No	項目名	属性(桁数)	必須 位置	内容・入力例
①	支店コード	半角数字(3)	必須	入力例=「123」、「001」
②	口座種別	—	必須	ラジオボタンにて選択する。
③	口座番号	半角数字(7)	必須	入力例=「1234567」、「0000001」
④	請求者 RefNo	半角英数字(40)	任意	お客様と取引先とで請求を管理するためのフリー入力欄。注文書番号や請求書番号の入力が可能。英字については大文字のみ入力可能。記号については「_」のみ入力可能。

入力例や注意事項を記載しています。

✦発生記録情報

No	項目名	属性(桁数)	必須 位置	内容・入力例
⑤	債権金額(円)	半角数字(10)	必須	1円以上、99 億 9999 万 9999 円以下で指定が可能。 入力例=「1234567890」、「10000」
⑥	支払期日	(YYYY/MM/DD)	必須	振出日(電子記録年月日)を含む3営業日目の翌日から10年後の応答日まで指定が可能。支払期日が非営業日の場合は翌営業日が支払期日となる。 入力例=「20120506」、「2012/05/06」
⑦	振出日(電子記録年月日)	(YYYY/MM/DD)	必須	当日から1ヶ月後まで指定が可能。 入力例=「20110506」、「2011/05/06」
⑧	譲渡制限有無	—	必須	ラジオボタンにて選択する。 「譲渡制限有無」が「有」の場合、債権の譲渡先を金融機関に限定する。
⑨	利用者番号	半角英数字(9)	必須	入力例=「ABCD012345」 英字については大文字のみ入力可能。
⑩	金融機関コード	半角数字(4)	必須	入力例=「9876」
⑪	支店コード	半角数字(3)	必須	入力例=「987」、「001」
⑫	口座種別	—	必須	ラジオボタンにて選択する。
⑬	口座番号	半角数字(7)	必須	入力例=「9876543」、「0000001」
⑭	取引先登録名	全角文字(60)	任意	入力例=「株式会社 電子記録債権」 「直接入力」にチェックを入れた場合は必須入力。

✦申請情報

No	項目名	属性(桁数)	必須 位置	内容・入力例
⑮	コメント	全半角文字(250)	任意	承認者への連絡事項等を入力するためのフリー入力欄。 入力例=「承認をお願いします。」

サービス概要

▼ 債権情報照会 (開示)

No.	取引名	内容
1	債権情報照会	・発生および保有している債権の記録事項・提供情報の照会 (開示) をします。 ・一括予約照会 (非同期) の請求結果ファイル (CSV 形式 / 共通フォーマット形式) をダウンロードします。

▼ 記録請求

No.	取引名	内容
1	債権発生請求 (債務者請求)	・債務者として債権の発生記録 (発生予約) を行います。 ・債務者として予約中の発生記録請求の取消を行います。 ・債権者として受領した債権の取消を行います。 (発生日を含む 5 営業日以内、かつ、支払期日の 3 営業日前まで) または、予約中の発生記録請求の取消を行います。
2	債権発生請求 (債権者請求) *	・債権者として債権の発生記録 (発生予約) を行います。 (相手方からの承諾回答が必要) ・債権者として予約中の発生記録請求の取消を行います。
3	債権譲渡請求	・保有する債権の譲渡記録・分割記録を行います。 ・譲渡人として予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 ・譲受人として譲り受けた債権の取消を行います。 (譲渡日を含む 5 営業日以内、かつ、支払期日の 3 営業日前まで) または、予約中の譲渡記録・分割記録の取消を行います。 ・分割記録は譲渡記録と一体として取り扱うことができ、分割記録単独での請求は行えません。 ・債権譲渡請求には原則として、保証 (保証記録) がつきます。なお、オプションにより保証をつけない債権譲渡請求も可能です。 *
4	債権一括請求	・一括して記録請求を行うためのファイルを登録します。 (一括請求が可能な記録は、発生記録 (債務者請求)、発生記録 (債権者請求)、譲渡記録・分割記録) ・登録したファイルの請求結果を照会します。

▼ 融資申込

No.	取引名	内容
1	割引申込 *	・金融機関に債権の割引を申し込みます。
2	譲渡担保申込 *	・金融機関に債権の譲渡担保を申し込みます。
3	照会 *	・融資申込状況を照会します。

▼ その他請求

No.	取引名	内容
1	変更記録	・債権の削除または記録内容の変更を行います。 (相手方からの承諾回答が必要)
2	保証記録	・債権者として債権に対する保証記録を依頼します。 (相手方からの承諾回答が必要)
3	支払等記録	・口座間送金決済以外で利用者間の決済を行った場合に、支払等記録を行います。 ・支払等記録請求には、支払を行ったことによる記録請求と、支払を受けたことによる記録請求があります。 (支払を行ったことによる記録請求の場合、相手方からの承諾回答が必要)

▼ 管理業務

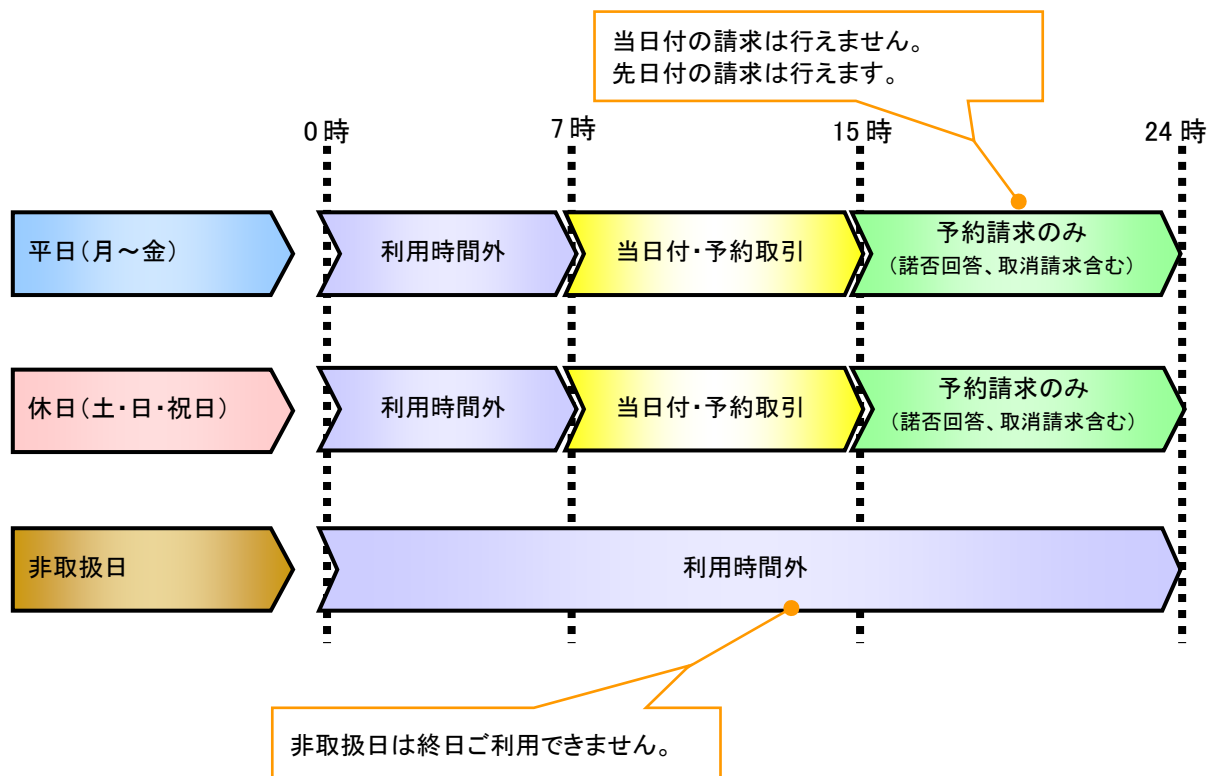
No.	取引名	内容
1	取引履歴照会	・過去の取引を照会します。 ・取引履歴ファイル (テキスト形式) をダウンロードします。
2	操作履歴照会	・操作履歴を照会します。 ・操作履歴ファイル (CSV 形式) をダウンロードします。
3	指定許可管理 *	・取引を許可する取引先制限について登録 / 変更 / 解除を行います。
4	取引先管理	・取引先の登録 / 変更 / 削除 / 照会を行います。
5	利用者情報照会	・利用者情報を照会します。
6	ユーザ情報管理	・ユーザ情報の変更 / 更新 / 照会 / 承認パスワード変更を行います。

* …利用申込時のオプション

サービス時間

1. ご利用可能時間について※1

取扱区分	利用時間帯
取扱日	平日（月～金）と休日（土・日・祝日）
平日（月～金）	7:00～24:00
休日（土・日・祝日）	7:00～24:00
非取扱日	12月31日から1月3日、5月3日から5日および、毎月第2土曜日の終日

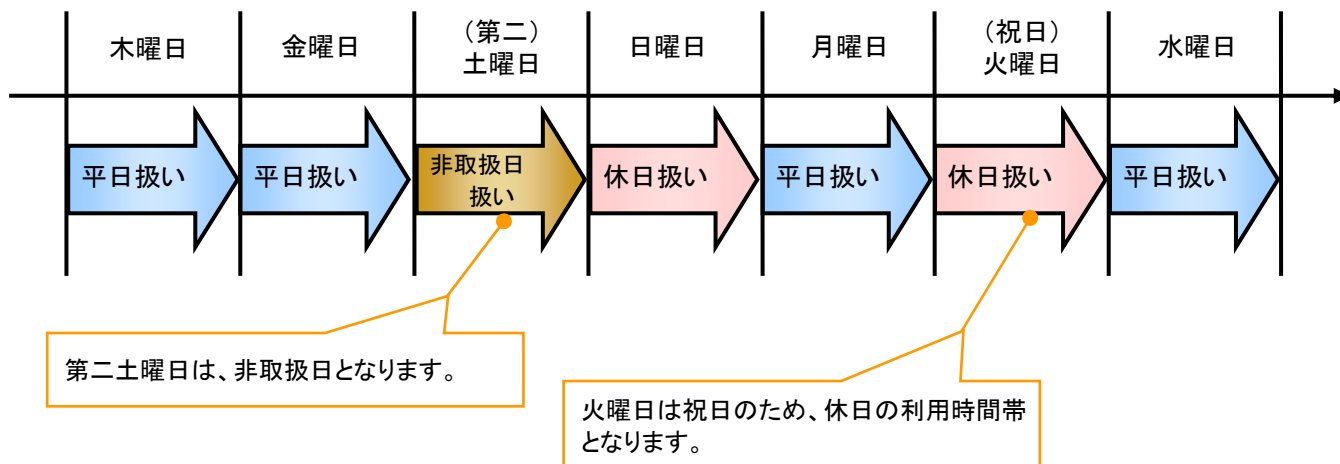


① ご注意事項

※1：利用時間外にユーザがログインをした場合、または既にログイン中のユーザが、利用時間外になってから操作した場合、利用時間外の旨のエラーを表示し取引はできません。

2. ご利用取扱日のイメージ

例：火曜日が祝日の場合、火曜日は休日扱いの利用時間帯となります。



動作環境

➤ 動作環境について

電子記録債権の利用にあたり、推奨する動作環境をご案内します。※¹

1. ハードウェア環境

対象	スペック
パソコン本体装置	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
(CPU)	下記『2. OS／ブラウザの種類および動作確認が取れている OS／ブラウザの組み合わせ』で規定する各種ソフトウェアの必要スペックを充足するもの
(メモリ)	
マウス	パソコン本体装置に対応しているもの
キーボード	英数字・記号・日本語入力可能なもの
ディスプレイ	1024×768ドット以上の画面解像度を推奨
プリンタ装置※ ²	A4 の用紙が印刷可能な装置

2. OS／ブラウザの種類および動作確認が取れている OS／ブラウザの組み合わせ

本システムにおける企業向けの端末推奨環境は、動作確認が取れた最新のものを随時以下のURLに掲載しますので、最新の情報をご確認のうえ、お客様にご案内ください。

■URL

・電子証明書方式：<https://www.shinkin.co.jp/kyotu/densai/kankyo/cl/index.html>

・ID・パスワード方式：<https://www.shinkin.co.jp/kyotu/densai/kankyo/id/index.html>

① ご注意事項

※¹：上記内容については動作確認済を意味するものであり、動作環境を保証するものではありません。

※²：帳票の印刷を利用しない場合は不要です。

申込書と提出書類

➤ 申込書と提出書類について

1. 申込書

申込書にお申込内容を記入します。申込時に指定可能な申込情報は以下の通りです。

- ・融資利用、債務者利用の有無
- ・指定許可登録利用有無
- ・利用者番号（他行、本支店含め、2回目以降の申込時は必要）
- ・残高証明書定例発行利用有無

2. 提出書類

- ・利用申込書
- ・利用者情報の取扱いに関する同意書
- ・反社会的勢力でないことの表名・確約に関する同意書
- ・商業登記簿謄本（現在事項証明書）（法人の場合）
- ・印鑑証明書 等

➤ 指定可能な申込項目について

区分	項目	内容	属性
利用者属性情報	法人 IB／非法人 IB 区分	法人 IB（メール通知）または非法人 IB（FAX 通知または書面）から選択する。	利用者単位
	債務者利用可否	債務者となり得るか否かを指定する。	アカウント単位
	発生記録債権者請求可否	発生記録請求（債権者請求方式）を行えるか否かを指定する。	アカウント単位
	融資申込可否	融資機能（割引または譲渡担保）を利用するか否かを指定する。 ※利用する場合、「割引および譲渡担保」「割引のみ」「譲渡担保のみ」を選択できる	アカウント単位
指定許可登録情報	発生記録（債務者請求方式）利用有無	でんさいネットの発生記録（債務者請求方式）指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	発生記録（債権者請求方式）利用有無	でんさいネットの発生記録（債権者請求方式）指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	譲渡記録利用有無	でんさいネットの譲渡記録指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
	保証記録利用有無	でんさいネットの保証記録指定許可登録を利用するか否かを指定する。	アカウント単位
残高証明書情報	基準日 郵送先 郵送先法人名 等	残高証明書定例発行を利用する場合に指定する。	アカウント単位

手数料

➤ 手数料について

金庫所定の手数料が必要となります。

詳しいことは、お取引店までお問い合わせください。

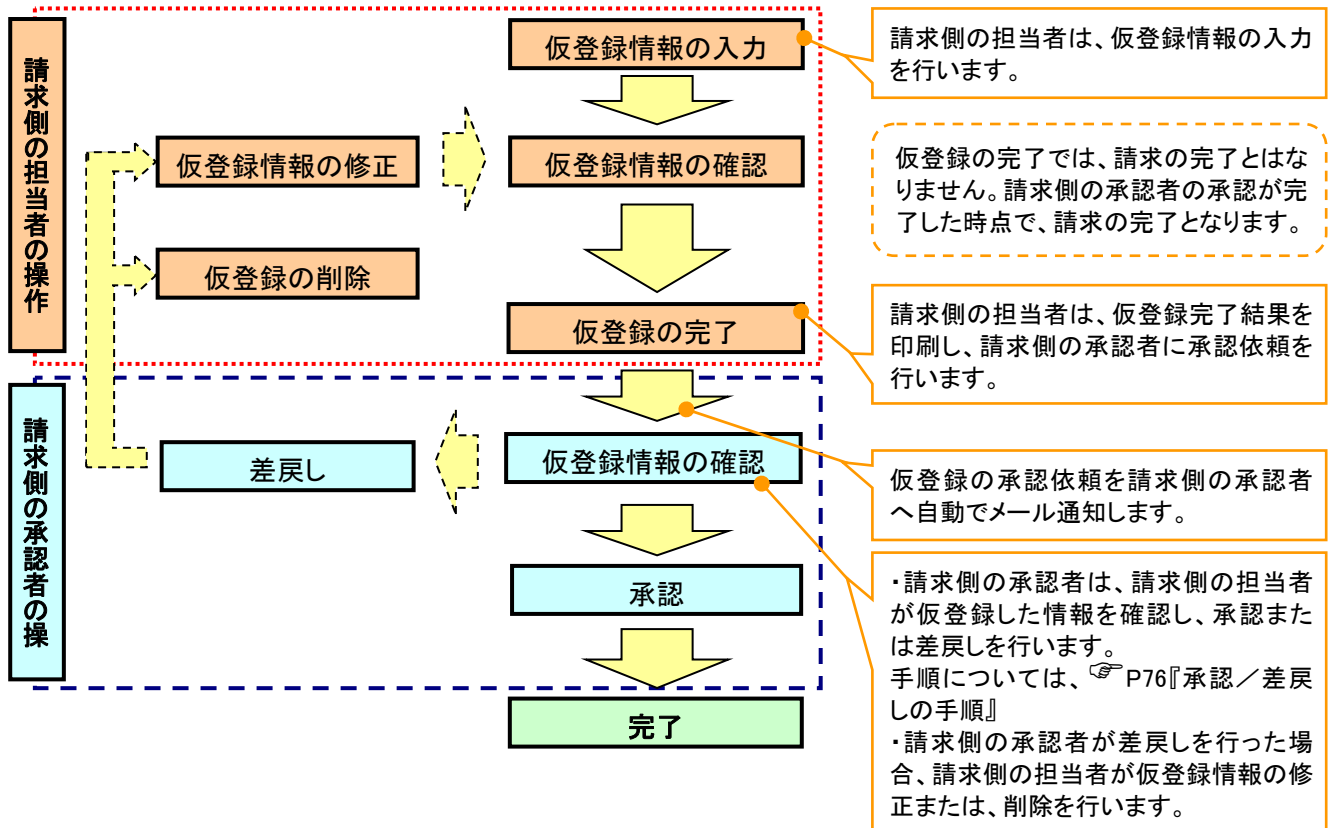
取引の流れ

- 電子記録債権取引の流れには、1.承認対象業務、2.承認不要業務と、3.承諾対象業務の3種類があります。
- 承認対象業務とは、請求側の担当者による仮登録と、請求側の承認者による承認の2段階の確認を経て実行する業務のことです。
- 承認不要業務とは、担当者／承認者の区別がなく、ユーザ単独で実行できる業務のことです。
- 承諾対象業務とは、承認対象業務において承認を経た後、被請求側の担当者による承諾／否認の仮登録と、被請求側の承認者による承諾／否認の承認の4段階の確認を経て実行する業務のことです。

1. 承認対象業務の流れ

手順としては請求側の担当者が仮登録を行い、その後、請求側の承認者が仮登録内容の承認を行います。

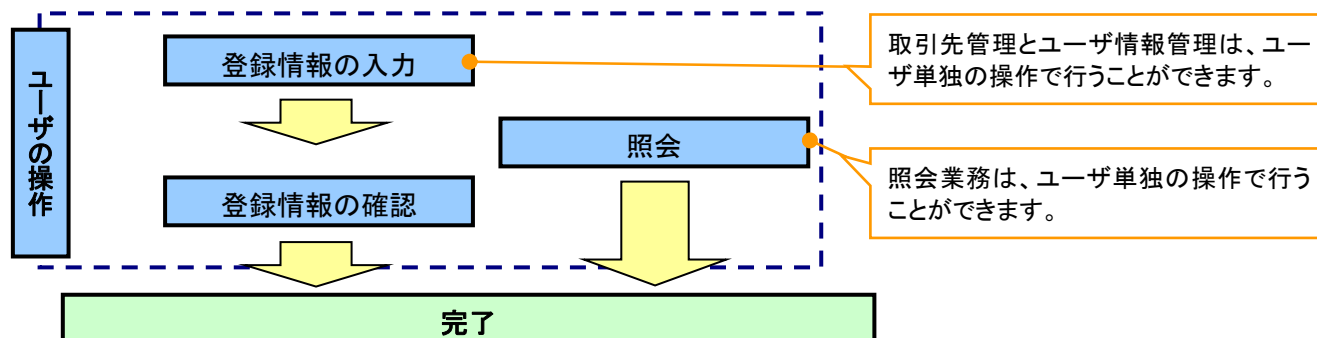
記録請求・融資申込(割引申込、譲渡担保申込)・その他請求・管理業務(指定許可管理)が、承認対象業務に該当します。



2. 承認不要業務の流れ

手順としては、ユーザが単独で行います。

債権情報照会(開示)・融資申込(照会)・管理業務(取引履歴照会、操作履歴照会、取引先管理、利用者情報照会、ユーザ情報管理)は承認不要業務に該当します。



3. 承認対象業務の流れ

手順としては承認対象業務の承認を経た後、被請求者側の担当者が仮登録を行い、その後、被請求者側の承認者が仮登録内容の承認を行います。

債権発生請求(債権者請求)・変更記録・保証記録・支払等記録(支払を行ったことによる記録請求)が、承認対象業務に該当します。

